



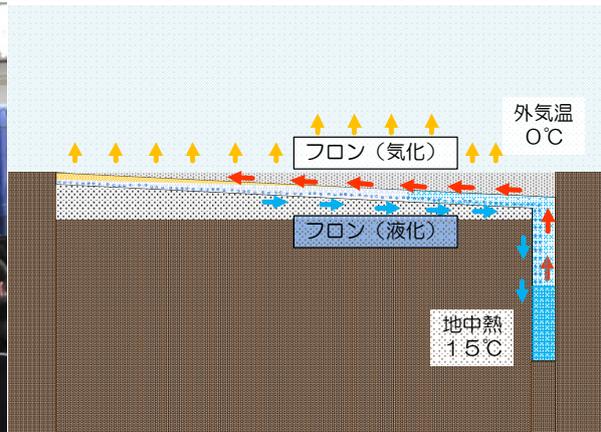
科学と人間生活で地中熱利用の講義

科学と人間生活授業の中でエネルギー関連の単元で、本校 SPH で取り組んでいる地中熱利用について授業が行われています。

自然エネルギーの中の地中熱について土木科の研究しているロードヒーティング実験の現物を見学するなどして学習を行っています。



日常の授業の中での取り組みとして実施



エネルギーの必要ないロードヒーティング

【スキルアップシートより生徒の感想】

- ・ 年中使えて環境に影響のないエネルギーがあることを初めて知りました。
- ・ 印象に残ったのは実際にロードヒーティングのされた道を見たことです。実際に雪が溶けるところを見たわけではありませんが大きな熱でなくても先生の説明した液体などの工夫をすることで利用できることがわかった。もっと自分も頭を柔らかく使い発見や工夫できるようにしたいと思いました。
- ・ 学校にエコハウスがあることは知らなかった。
- ・ 時代の最先端をいく事業があって驚いた。
- ・ エコハウスを生徒が作ったと聞いてびっくりした。あまりエコハウスについて知らなかった。自分たちも何かやってみようと思った。
- ・ 各科ごとに役割を分担して1つの建物をつくるのはとても楽しそうでした。
- ・ 地中熱と地熱は似たようなものだと思っていたが、全くちがうものだということがわかった。
- ・ 熱をだしているのにCO2などを全く出していないのはすごいと思った。そのようなものを実際に作っているのはすごいと思った。
- ・ エコハウスの建設と空調設備までを生徒がやることに驚いた。
- ・ 太陽から受けた熱が土の中で保たれるとは思いませんでした。
- ・ 地中熱の他にもいろいろな自然エネルギーがあることがわかった。もしかしたら自分の身の周りにも利用できるエネルギーがあるのではないかと思った。
- ・ 普段普通に通っていたところに SPH の活動がとりこまれていて驚いたそして、自分は建築科なのでこのエネルギーを利用した2年生が作ったエコハウスのような建築物を作りたいと思いました。
- ・ SPH が何なのかわからなかったが何なのかわかった。

【生徒の変容と身についた力】

- ・ 当該学年以外の生徒についても SPH の取組に関心が向くようになった。
- ・ 自然エネルギーの活用について考えるようになった

